

● イラストレーターデータ入稿の際の注意事項及びお願い

※下記の事項を必ずご確認ください。守られていない場合、データの再入稿をお願いしたり、印刷後にご希望通りの仕上がりにならない恐れがあります。

※バックアップをお手元に必ずとった状態で入稿してください。（特に文字のアウトライン前のデータ）

1. イラストレーターのバージョンを明記してください。

作成バージョンを必ず明記し、最終形のプリントアウト紙をつけて下さい。また、画像を配置している場合はその**配置画像データも必ず**入稿して下さい。また、バージョンダウンは行わず、**作成したバージョンのままで保存**して下さい。

2. 仕上がりサイズで作成して下さい。

例えばA4サイズであれば、210×297mmで作成してください。210.8×298.4mmといったようにサイズに誤りがある場合、ご希望通りに仕上がらない場合があります。

3. カラーモードは「CMYK」で、1つのファイルに1ページ分を作成して下さい。

(設定方法)

上部のツールバー「ファイル」→「書類のカラーモード」で設定。

配置する画像データも「CMYK」にしておいて下さい。



4. トンボはトリムマークを使用して下さい。

(設定方法)

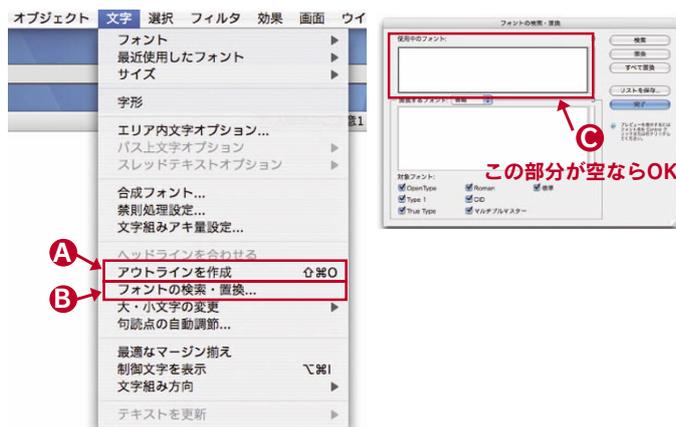
「塗り」「線」なしの状態で作成し、フィルタ→クリエイト→トリムマークでトンボを作成して下さい。

※「オブジェクト」→「トンボ」→「作成」は使用しないで下さい。

5. 文字には必ずアウトラインをかけてください。

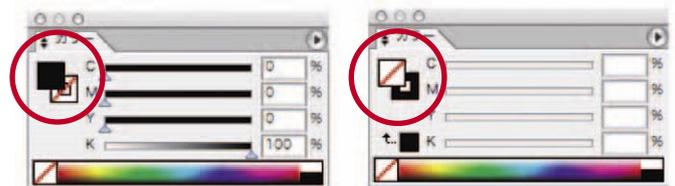
(アウトラインのかけ方)

- ①ロックを解除し、すべてのオブジェクトを選択します。
- ②上部のツールバー「文字」→「アウトラインの作成」を選択（図A）。これでアウトラインがかかります。
- ③上部のツールバー「文字」→「フォントの検索・置換」を選択（図B）。フォント表示がなければアウトライン化されています（図C）。必ず確認をして下さい。



6.印刷範囲外にある必要のないオブジェクトは「削除」しておいて下さい。
また、必要のないレイヤーは「隠さず」削除しておいて下さい。

7. 0.3ptより細い罫線は使わないで下さい。
0.3pt以下及び「塗り」の線（いわゆる「ヘアライン」）は使用しないで下さい。プリンタ出力では出ても、印刷では出ず、消えてしまいます。



この形（塗りの線）で罫線を作成しても印刷では出ません。

この形にして線幅を0.3pt以上で作成して下さい。

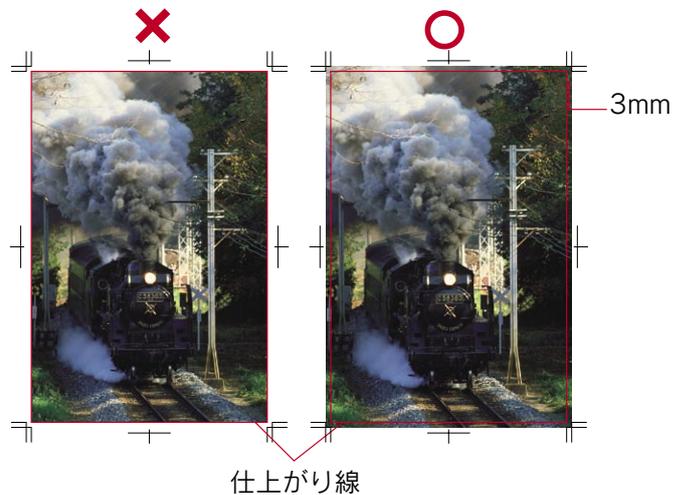
8. 4色総ベタは使用しないで下さい。

4色総ベタ（C100%+M100%+Y100%+BK100%）は裏写りやトラブルの原因になります。締まった黒を表現されたいときはBK100%+C30%、さらに深い黒を表現されたいときはBK100%+C30%+M30%+Y30%に設定して下さい。

9. 塗り足しは3mmつけて下さい。

用紙の端まで色ベタや画像がある場合、用紙の外側に天地左右3mmずつ塗りの範囲を広げてください。仕上げの断裁時に余白が出ないために必要です。

画像など塗り足しが無い場合、再度修正してデータを再入稿して頂くか、拡大または移動などの処理を行わなければなりません。（拡大または移動を行うと仕上がりがイメージが変わってしまいます。）



10. オーバープリントを設定される際は必ず指示書をつけて下さい。

ブラックオーバープリントは基本的に当社で処理します。お客様自身でオーバープリントの作業をする場合は、原稿等に当社でも確認がとれるよう簡単な指示書をつけて下さい。

11. 配置データの拡大縮小はご注意ください。

拡大縮小は50%～120%内で収まるようにして下さい。出力エラーや画質劣化の原因となります。

12. 画像を埋め込む際は・・・

配置した画像は埋め込みでなくリンクを推奨していますが Illustrator9.0以上で透明の処理が行われたものについては画像を埋め込んで下さい。埋め込み後は画像の確認がこちらでとれなくなります。必ずphotoshop上でカラー設定がCMYKで解像度が350dpiにしたものを埋め込んで下さい。

12. カラー（4色）印刷の場合、「スポットカラー（DIC等）」は使用しないで下さい。

特色指定の印刷物を除き、「スポットカラー（DIC等）」は使用しないで下さい。もし使用された場合は、出稿時にスウォッチの項目から削除して下さい。スポットカラーで作られたデータは製版時のエラーの原因となります。



<スウォッチ上のスポットカラー>

入稿前に必ず削除して下さい。

14.その他

●イラストレーターのver.8、ver.9で作成の場合

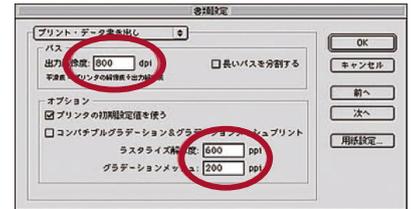
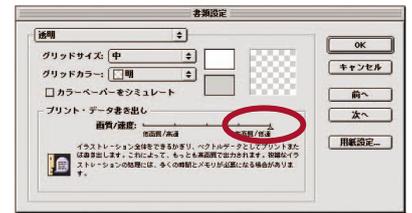
属性にあるアウトプットが800になっているか確認下さい。



●イラストレーターのver.9で作成の場合 (書類の設定)

「ファイル」→「書類設定」→「透明」で「プリンタ・データ書き出し」を「高画質・低速」に設定して下さい。
また、「ファイル」→「書類設定」→「プリントデータ書き出し」でパスの出力解像度を800dpiにします。
オプションの項目でラスターライズ解像度を600ppi、グラデーションメッシュを200ppiに設定して下さい。

この設定がなされないと、オブジェクトがジャギー（ギザギザ）状になってしまいます。



● unnecessary objects (especially isolated points) or layers must be deleted.

● EPS data created in Illustrator should be linked, not placed.

Photoshopデータ（写真画像データ）入稿時の注意事項

1. カラーモードはCMYKにしておいてください。

スキャニング&デジタルカメラ等のRGBデータは、CMYKカラーに変換して下さい。（ただし特色刷りの場合はダブルトーンで構いません。）RGBカラーでご入稿されると印刷の仕上がりに問題が起きます。

2. 画像解像度について

画像解像度は、350dpiに変換をお願い致します。
メニューのイメージ→画像解像度にて確認して下さい。
※但し、線画2諧調モードのデータは、1200dpiにてお願い致します。



画像サイズは
実際に使用する
サイズにして
おいて下さい

3. 保存形式はEPS形式で保存して下さい。

Photoshop EPS形式で保存して下さい。
プレビュー：Macintosh (8bit/pixels)
エンコーディング：JPEG-標準画質 もしくは
最高画質（低圧縮率）



チェックをすべて
外しておいて下さい。

高画質を求める画像の場合は最高画質をおすすめしますが、一般的な写真の場合は標準画質をお願いします。

印刷トラブル防止のため、なにとぞご理解・ご協力下さい。

制作上でご不明な事がございましたら、お気軽に制作部又は担当営業までご連絡下さい。